

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 テーマ

相互の理解と
地域との つながり

2011-2012 年度 RI会長
カルヤン・パネルジー

次回例会予定 2月8日 外部卓話
2月15日 会員卓話

VOL. 49 No.25(通算No. 2306)

2012年2月1日(水)例会プログラム

点 鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話

水海道第一高等学校 校長 的場伸一様



「もちつき大会」

写真提供:石塚克己会員

2011-2012年度

会長 大塚 令 昌

幹事 齋藤 広 巳

創立 1963年9月25日

《例 会 場 ・ 例 会 日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事 務 所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875

Fax.0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.49 No.24(No.2305) 1月25日(水)晴れ (司会 染谷正美委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆外部卓話 水海道第二高等学校 校長 横島義昭様

ピジター

米山奨学生 全 志英さん

水海道第二高等学校 校長 横島義昭様

入会式 石井康弘様



プロフィール

石井化成品株式会社

常総市水海道山田町1141-4

TEL 0297-23-2594 Fax 0297-23-2596

1974年6月に創業、設立。当時は「塗料の販売」をメインにスタート。現在は「塗料の製造(色彩調合)」をはじめ、建設業許可を取得し、一般建築塗料や防水工事などを請け負う業務も増えてきました。

2004年6月に、代表取締役を石井康弘に承継し、経営方針書をメインに「塗料の製造(色彩調合)」

や「営業の強化」を図りつつ、現在に至ります。

石井康弘様挨拶

若輩ですが、本日より宜しく願い致します。

誕生祝

《配偶者》松村会員

幹事報告 斎藤広巳幹事

週報受理クラブ 藤代RC、水戸RC、水戸東RC、水戸西RC、水戸南RC

例会変更通知 なし

会長挨拶 大塚令昌会長



先ずは、石井様入会おめでとうございます。若い活力、会報委員会でご活躍の程願申し上げます。

皆様、1月18日の新年会には沢山の会員のご出席を頂き、ありがとうございました。本年度の新年会は、50周年に向けまして経費削減をさせて戴きました。如何でしょうか。ゆっくりお話が出来たかと思えます。親睦委員会ご苦労様でした。そして本日は、水海道第二高等学校の横島校長先生にお願いし、お忙しいなか卓話を戴けることになりました。横島校長先生後程宜しく願い申し上げます。本日は時間もありませんので終了させていただきます。

2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

第7分区 会長・幹事会

場所 竜ヶ崎市横町

日時 1月20日 18時30分開会

内 容

1) 第2820地区第7分区 IM (インターシティーミーティング)

日時 2012年2月26日(日) 13時30分 受付開始 14時 開会

場所 「アルシェ」竜ヶ崎市松ヶ丘4-3-4

講演 演題「原子力のことを考える」

国際原子力技術協力センター次長 島崎潤也先生

その他 (会員登録は各クラブ全員登録で願います)

2) GSEの地区割と報告

A 第7190地区からGSEチームの構成が1月15日に入りました

B 2820地区には3月14日～4月12日 期間 5週間

C 第3分区より チーム構成は 女性 3名 男性 2名 計5名

D 第7分区には3月28日(水)水海道ロータリークラブに12時着

その後の予定については、2月1日の理事役員会にて決定したいと思います。

外部卓話 茨城県立水海道第二高等学校 校長 横島義昭様



本日、卓話をお願いしました茨城県立水海道第二高等学校校長 横島義昭様をご紹介します。

旧関城町出身で、現在は筑西市在住です。教育課題に、生徒一人ひとりの「伸びしろ」を伸ばすこと。

趣味・特技は、テニス(週に1回)、登山(百名山走破を目指している)。カウンセリング(学校心理士(スクールカウンセラー)の資格あり)

茨城県立水海道第二高等学校は、この度創立百周年を迎えられました。昨年11月23日には、同校体育館において、記念式典が盛大に挙行されました。当日の式典会場には来賓席に当クラブ会員、鈴木邦彦会員のお顔もお見受け致しました。学校医のお立場でご臨席のご様子でした。頂戴した記念誌を拝見しますと、五木田利明会員も校医のお立場で二高の学校経営ご尽力なされております。

一方では、当クラブとしても数年前、ロータリー地区協議会の開催に際しては、会場をお借りした経緯もございました。

本日の横島校長の卓話を契機に、当クラブ会員と二高との交流、会員の二高への理解を深めるきっかけとなれば幸いです。それでは、卓話をお願い致します。



1. はじめに

- ・本日は、創立100周年の本校への地元からのご支援に「感謝」、生徒募集(子供、孫)の「営業活動」(今は好調も生徒集めに要努力)のために伺った。
- ・今日は、主に本校の「100年の歩み」と「現在の状況」についての話をしたい。

2. 本校の歴史

・明治44年(1911)に、水海道町と六ヶ村(大生村、三妻村等)の組合立として、新八間掘の水門の北側付近に創立。第1回入学生は48人。我が国が日露戦争勝利後、近代化

2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

の歩みが加速した時代、女子教育(良家の子女)の熱き期待のもとに設立。当時、制服袴の裾の白2本線は地元女子の憧れだった。

・大正11年(1922)に、地元の熱心な陳情(小倉邦一郎氏、増田兆五氏、大串郁三郎氏等)により、県立に移管し、「県立水海道高等女学校」となった。県立高女は水戸、土浦に次いで3番目。校地を現在地に移し、ローズ色の木造2階建校舎を建てた。会公式には人出が数万人、町を挙げての祝賀。

・昭和2年(1927)に、校訓「自立・協和・優雅」が定められた。高女の「自律」(自立)は当時(関東大震災から4年後、金融恐慌)、革新的であった。

・戦後の学制改革(6・3・3制)を受け、昭和24年(1949)に、現在の「水海道第二高等学校」なる。男女共学になり、男子の1回生18人が入学した。昭和34年で一端途切れるが平成7年から再び入学。

・その後、卓球の大川とみさんの活躍、女子ハンドボールの2度の全国制覇など、輝かしい功績を残しながら現在に至る。

3. 本校の現況

・学校規模……生徒数718人(男子209人(29%))。普通科3、商業科2、家政科1。職員数67人。

・進路状況……大学:専門学校:就職=3:5:2。普通科で5割、商業科・家政科も2割は大学へ。

・部活動状況……ハンド部:インハイ52回出場。水泳部:関東大会出場。野球部:夏3回戦進出。

吹奏楽部:東関東コンクール金賞。バスケ、バレー、卓球、テニス、バド、書道、美術が県大会。

4. 本校の将来展望

・夏の中学生1日体験入学に約1000人参加。希望調査(11月)で2.2倍(県内2位)⇒人気校と言われるが、「ゆでガエル」のおそれもあり。

・県立高校再編整備(H15~H32)……生徒数の減少(5万人→2.5万人)により統廃合が進展。111校(H15)→100校(H23)→88校(H32)[△23]⇒生き残りをかけて魅力ある学校づくりが不可欠。

・生徒一人一人の「伸びしろ」をシッカリ伸ばせる学校づくり。⇒現在、8割が上級学校に進学。→県族教育で高い専門性を身に付けさせるため、キャリア教育重視型進学校を目指す。

5. 終わりに

・地域から信頼される学校にしたい。⇒地域貢献も重視……市FCにロケ協力(H22:4回、H23:6回)

・水海道二高は地元の熱意により作られ育てられた学校。引き続きご支援よろしくお願ひいたします。



2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

出席報告 (登坂 寛委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	36名	21名	0名	21名	100.00%

ニコニコボックス 鈴木勝久委員長

入金計 ¥40,000 累計 ¥1,448,000

誕生祝御礼《配偶者》松村会員

今後共、宜しくお願い致します。 石井会員

石井康弘会員、ご入会おめでとうございます。 田上会員

石井様、入会おめでとうございます。 大塚会員

石井さん、入会おめでとうございます。横島校長先生卓話宜しくお願いします。 斎藤会員

今年も宜しくお願いします。 松村会員

横島校長先生、卓話宜しくお願い致します。 染谷(正)会員

本日の例会卓話に、横島義昭校長をお迎え致しました。宜しくお願い申し上げます。 海老原会員

例会終了後、ハングル講座です。宜しくお願い致します。 青木(清)会員

新年会、御協力誠にありがとうございました。 五木田(益)会員

今年初出席です。本年もよろしく申し上げます。 松崎会員

新年会欠席しました。 白井会員

その他 山野井会員

隅屋さんに娘のピアノリサイタルの演奏を褒めて頂きました。 五木田(利)会員

会報委員会

青木清人委員長

松崎隆司副委員長

木幡 浩委員

2012-13年度のRIテーマは「奉仕を通じて平和を」

記事:Megan Ferringer、Arnold R. Grahl

国際ロータリー・ニュース:2012年1月16日



2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

16日に行われた2012年国際協議会の開会本会議で、田中作次RI会長エレクトが次年度のRIテーマを発表し、「奉仕を通じて平和を」築いていこう、ロータリーの次期地区ガバナーに呼びかけました。

「平和をどのように定義するにせよ、平和がロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることをご理解ください。平和は、協定や、政府や、大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものであります」

「平和」が何を意味しているかは、人によって違う、と会長エレクトは語ります。「どの定義が正しいとか、間違っているとかということではなく、自分にとって平和が意味すること、それがまさに平和なのです。どのような意味でこの言葉を使うにしても、ロータリーでそれを実現することができます」

ビジネスで活躍し、埼玉県に在住する田中会長エレクトは、ロータリアンとなったことで世界観が広がった自らの経験について語りました。1975年に八潮ロータリークラブに入会后、収入や売上げを増やすことよりも、ほかの人の役に立つことが人生で最も大切だと思うようになったと話します。「どんな些細なことでも、人を助けることがいずれは平和につながることに気づきました」

また、「個人のニーズより、社会のニーズを重視するのは、日本の文化と切り離せない伝統的な価値観」と語る田中会長エレクトは、この価値観が3月の東日本大震災後の復興努力にも見受けられる点に触れました。「これは、日本以外の国々にとっても、良い教訓であると感じております。他者のニーズが、自分自身のニーズよりも大切だと思え、社会全体のための共通の目標に向かって力を合わせることができるようになれば、世界に対する見方、関わり方、価値観など、すべてが変わるようになります。そして何よりも、平和というものに対する考え方が変わります」

田中会長エレクトはまた、RI戦略計画の3つの優先項目への支援、ならびに広島、ベルリン、ホノルルで開催される3回のロータリー平和フォーラムの推進にも協力するよう、ロータリーの次期リーダーに呼びかけました。「ロータリーのビジネスは、利益の追求ではなく、平和の追求です。ですから私たちにとって、報酬はお金を手に入れることではなく、自分の努力によってより良い、より平和な世界が実現するのを見届けることにあります」

